

エジプト学研究第 20 号 2014 年

The Journal of Egyptian Studies Vol.20, 2014

目次

〈序文〉	吉村作治	3
〈調査報告〉		
2013 年 太陽の船プロジェクト 活動報告	黒河内宏昌・吉村作治	5
エジプト ダハシュール北遺跡発掘調査報告－第 19 次発掘調査－	吉村作治・矢澤 健・近藤二郎・西本真一・和田浩一郎	13
第 6 次ルクソール西岸アル＝コーカ地区調査概報	近藤二郎・吉村作治・柏木裕之・河合 望・高橋寿光	43
〈論文〉		
エジプト先王朝時代の穿孔技術に関する実験考古学的研究 －フリント製小型ドリルの切削能力と形状変化の観察－	長屋憲慶	59
〈研究ノート〉		
クシュの碑文を母系制として読む －即位の記録と「アララとアメン・ラーの契約」－	齋藤久美子	83
エジプト先王朝時代における石製容器の地域性	竹野内恵太	99
オブジェクト・フリーズ (<i>frise d'objets</i>) と出土遺物の比較 －装身具およびアミュレットを中心に－	山崎世理愛	115
〈動向〉		
争乱の中の大エジプト博物館建設と文化財保存修復をめぐる国際協力	高木規矩郎	131
〈活動報告〉		
2013 年度 早稲田大学エジプト学会活動報告		145
2013 年 エジプト調査概要		149
〈編集後記〉	近藤二郎	155

The Journal of Egyptian Studies Vol.20, 2014

CONTENTS

Preface	Sakuji YOSHIMURA.....	3
Field Reports		
Report of the Activity in 2013, Project of the Solar Boat	Hiromasa KUROKOCHI and Sakuji YOSHIMURA.....	5
Preliminary Report on the Waseda University Excavations at Dahshur North: Nineteenth Season	Sakuji YOSHIMURA, Ken YAZAWA, Jiro KONDO, Shinichi NISHIMOTO and Koichiro WADA.....	13
Preliminary Report on the Sixth Season of the Work at al-Khokha Area in the Theban Necropolis by the Waseda University Egyptian Expedition	Jiro KONDO, Sakuji YOSHIMURA, Hiroyuki KASHIWAGI, Nozomu KAWAI and Kazumitsu TAKAHASHI.....	43
Articles		
An Experimental Approach to the Drilling Technology in the Predynastic Period: Cutting Capability and Reduction Patterns of Flint Micro-drills	Kazuyoshi NAGAYA.....	59
Reading the Kushite Texts in the Matrilineal Context: Enthronement Records and the Covenant between Alara and Amen-Re	Kumiko SAITO.....	83
Regional Variation of Stone Vessels in Predynastic Egypt	Keita TAKENOUCI.....	99
Comparison between the <i>frise d'objets</i> and Burial Goods: Focused on the Ornaments and Amulets	Seria YAMAZAKI.....	115
Report	Kikuro TAKAGI.....	131
Activities of the Society, 2013-14.....		145
Brief Reports of Fieldworks in Egypt, 2013.....		149
Editor's Postscript.....	Jiro KONDO.....	155

編集後記

『エジプト学研究第20号』をお届けします。早いもので「アラブの春」から3年が経過しました。思い返せば2011年は年初から激動の年でありました。ムバラク政権の崩壊につながったエジプトの民主化運動などアラブ世界で吹き荒れた嵐は、今も続いており、終息の時期を予想することさえできません。日本でも3月11日に東日本大震災があり、被災地では今も復興に向かって努力が続けられています。エジプトでも、2012年に大統領選挙が実施され、ムスリム同胞団の政権であるムルシー政権が誕生しましたが、ムルシー大統領就任1年にあたる昨年7月に大統領職を解任、拘束されるという事態に陥りました。その混乱などもあり、昨年秋以降、日本発着のエジプト航空も運休状態にあります。現在の暫定政権下で治安の回復が急務になっています。今後続く、大統領選挙をはじめとする新体制づくりから、しばらくは目を離せそうありません。安定したエジプト国家が誕生してくれることを切に望んでいます。

このような状況の中でも、エジプトにおける調査・研究は継続・実施されています。特に2013年12月から2014年1月にかけてのルクソール西岸での岩窟墓調査において、ウセルハト墓（TT.47）の前庭部の堆積砂礫除去作業中に鮮やかな色彩で描かれた壁画を持つ未知の岩窟墓（コンスウエムヘブの墓）の発見があり、年始に大きく報道されました。2014年冬に本格的な発掘調査を予定しており良い成果があがるものと期待されています。

さて、本号『エジプト学研究』20号には、エジプトにおける3本の最近の調査報告、そして論文が1本、研究ノートが3本、動向1本、活動報告という内容になっています。今回は大学院生によるものが2本、また研究ノートでは学部3年（2013年度）のものが掲載されています。若手の研究成果を積極的に掲載していこうとの当初からの意向が反映された形になっており、非常に嬉しく思います。今後もこうした傾向を維持・発展させていければと思います。

最後に本号の編集には、河合 望・馬場匡浩両氏に大変お世話になりました。明記して感謝したいと思います。

2014年3月末日

近藤 二郎

早稲田大学文学学術院教授

早稲田大学エジプト学研究所所長

エジプト学研究 第20号

2014年3月31日発行

発行所 / 早稲田大学エジプト学会

〒169-8050 東京都新宿区戸塚町1-104

早稲田大学エジプト学研究所内

発行人 / 吉村作治

The Journal of Egyptian Studies No.20

Published date: 31 March 2014

Published by The Egyptological Society, Waseda University

1-104, Totsuka-chyo, Shinjyuku-ku, Tokyo, 169-8050, Japan

© The Institute of Egyptology, Waseda University